

令和元(2019)年度 森林環境譲与税の用途について

| 市町村名 | 事業区分 | 事業名 | 事業総額(千円) | | | (viii) 事業内容 |
|------|-------------|----------|----------|------------------------|---------------|--|
| | | | (A)+(B) | (A)うち令和元年度の森林環境譲与税(千円) | (B)うち他の財源(千円) | |
| 柏崎市 | 意向調査の準備作業 | 森林経営管理事業 | 2,796 | 2,796 | 0 | 市内の森林現況調査や経営として成り立つ森林を拾い出し、整備順位をつけ、経営管理権集積計画作成に係る森林所有者への同意取得に向けた準備及び資料作成を民間事業者へ委託。 |
| | 林道・林専道の整備等 | 森林経営管理事業 | 1,436 | 1,436 | 0 | 林道の路盤改良を実施、町内会へは林道の維持管理(草刈り等)を委託。 |
| | 担い手確保 | 森林経営管理事業 | 600 | 600 | 0 | 新規に林業従事者を雇用する、市内の林業経営体に対し就労改善と雇用の定着をはかるための支援。 |
| | 基金積立(森林整備等) | 森林経営管理事業 | 7,000 | 6,967 | 33 | 今後、未整備森林の施業が開始される予定であり、利用間伐や切り捨て間伐等に要する多額の経費が見込まれる。また、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に関することに備えた積立。 |
| 合 計 | | | 11,832 | 11,799 | 33 | |

【意向調査の準備作業の詳細】

(1) 地区の選定基準

1. 現況の林道が整備され、幅員が2.5m以上かつ勾配が25°以下で路肩崩れ等の危険がなく林業機械が容易に侵入できること
2. 県道・市道・林道・農道が2.5m以上あり山林に面している区域であること
3. 大型・中型(4t)車両・林業機械の進入路幅員が2.5m以上であること
4. 林齢が35年以上であり、5ha以上林立したまとまりのある区域であること
5. 山林傾斜が35°以内であること
6. ha当たり70立方メートル以上の材積が確保できる区域であること
7. 大型・中型(4t)車両の進入できる道路沿いで搬出材の土場が1,000平方メートル確保できる区域であること

(2) 選定された地区

1. 安田地区
2. 西長鳥地区
3. 東長鳥地区(その1)
4. 東長鳥地区(その2)
5. 東条地区
6. 中鱈石地区
7. 善根地区
8. 石管根地区
9. 野田地区
10. 上条地区
11. 高柳地区
12. 西山地区

(3) 今後の予定

令和2(2020)年に林道黒姫山線が全線開通したことにより、大型車・作業車両の通行、木材の搬出が容易になったため、高柳地区から計画を進めていきます。



重機で杉の木を掴む様子（石曽根地区）



チェーンソーで杉の木を伐採する様子（石曽根地区）